

第5章 地区別計画

- | | |
|---------|-----------|
| 1 厚木北地区 | 9 小鮎地区 |
| 2 厚木南地区 | 10 南毛利地区 |
| 3 依知北地区 | 11 南毛利南地区 |
| 4 依知南地区 | 12 玉川地区 |
| 5 睦合北地区 | 13 森の里地区 |
| 6 睦合南地区 | 14 相川地区 |
| 7 睦合西地区 | 15 緑ヶ丘地区 |
| 8 荻野地区 | |

地区別計画とは

市内 15 地区を単位として、より身近な地域で、きめ細かな福祉サービスが提供され、地域住民の支え合い活動など小地域での地域福祉活動が推進されるよう、地区地域福祉推進委員会が中心となって、地域が主体的に話し合い、地区における現状や課題に基づき、「見守り活動の充実」、「地域における居場所づくり」及び「地域で支え合う人づくり」について今後の取組方針などを定めた計画です。

1 厚木北地区

現状と課題

- 高齢者人口、ひとり暮らし高齢者、要支援・要介護認定者などが増加傾向にあり、日常生活や介護などへの不安解消に取り組む必要があります。
- 小地域による高齢化率の差が大きく、それぞれの福祉課題に応じた取組が必要です。

地区データ

平成29年10月1日現在

区分	市	厚木北地区	区分	市	厚木北地区
人口	225,535人	22,546人	身体障害者手帳所持者	6,089人	586人
年少人口 (0～14歳)	28,633人	2,896人	療育手帳所持者	1,731人	125人
生産年齢人口 (15～64歳)	142,141人	15,265人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591人	190人
老年人口 (65歳以上)	54,761人	4,385人	後期高齢者人口 (75歳以上)	23,522人	2,019人
高齢化率 (65歳以上)	24.3%	19.4%	高齢化率 (75歳以上)	10.4%	9.0%
要支援(1・2)	1,505人	173人	要介護(1～5)	5,809人	505人

取組方針

- 身近な人たちとの気軽なお付き合いを通して、見守り活動を推進します。
- 気軽にふれあいとおしゃべりができる場を作ります。
- 地域福祉を支えるボランティア団体を育成します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例

- ひとり暮らし高齢者の安否確認事業
- 障がいのある高齢者やねたきり高齢者の介護者支援事業

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例

- 子育てサロン「ふれあいとおしゃべりの部屋」の開催
- ミニデイサービスの実施

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例

- ボランティア団体の育成
- 世代間交流事業の推進

主な指標

指標1 ひとり暮らし高齢者の安否確認事業の対象者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
315人	350人	400人

指標2 子育てサロン「ふれあいとおしゃべりの部屋」参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
404人	425人	450人

2 厚木南地区

現状と課題

- 少子高齢化や核家族化の進展により、高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者が増加傾向にあり、買い物等の日常生活や健康などへの不安が高まっていることから、それらの不安解消を図るための方策が求められています。
- 集合住宅や単身世帯の増加等により地域住民相互の結びつきが弱まりつつあることから、高齢者等の地域での居場所づくりはもとより、サービス供給側である地域福祉の担い手の確保など地域ぐるみでの取組の重要性が増大しています。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	厚木南地区	区 分	市	厚木南地区
人 口	225,535 人	12,002 人	身体障害者手帳所持者	6,089 人	320 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	1,100 人	療育手帳所持者	1,731 人	66 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	7,892 人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591 人	108 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	3,010 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	1,495 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	25.1%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	12.5%
要支援(1・2)	1,505 人	103 人	要介護(1～5)	5,809 人	344 人

取組方針

- 会食会やミニデイサービスなどを通じて、高齢者の地域福祉活動への参加を促進することにより、地域とのつながりや見守りのネットワーク体制の強化を図ります。
- 子育てサロン事業を通じて、将来の地域の担い手の確保に資するため、地域ぐるみで子育て支援を図ります。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ ミニデイサービスの実施 ○ 宅配サービスの実施 ○ ひとり暮らしの高齢者への年賀状の発送
------------	--

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世代間交流給食会の実施 ○ 会食会の実施 ○ 敬老事業の実施
------------	--

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てサロンの実施 ○ 視察研修や広報発行による地域福祉の担い手の育成 ○ 福祉バザーの実施
------------	--

主な指標

指標1 ミニデイサービスの参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
1,672人	1,700人	1,700人

指標2 会食会・世代間交流給食会の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
230人	250人	250人

3 依知北地区

現状と課題

- 高齢化率は市の平均と同等の割合であるが、外国籍の居住者は増加しており、民生委員・児童委員や地区市民センターなどに相談される事例は多岐にわたっています。
- 家族や御近所との関係が希薄になっていく中、高齢者の孤立は地域の大きな課題となっています。その防止には地域での見守りや人とのつながり、助け合いを充実させる必要があります。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	依知北地区	区 分	市	依知北地区
人 口	225,535 人	18,189 人	身体障害者手帳所持者	6,089 人	523 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	2,179 人	療育手帳所持者	1,731 人	137 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	11,548 人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591 人	112 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	4,462 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	1,648 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	24.5%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	9.1%
要支援(1・2)	1,505 人	96 人	要介護(1～5)	5,809 人	462 人

取組方針

- 地区規模の事業や自治会単位によるミニデイサービスなどを通じて、地域に住む高齢者の見守りに努めます。
- ふれあい給食会や子育てサロンなどの事業を通じて、地域全体で子育てを支援できるよう目指します。
- 地域内における福祉ボランティア団体等による小規模のサロン活動を積極的に支援し、地域における見守りの関係づくりを促進します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例

- 敬老会等の地区規模での事業の実施
- 敬老祝品の配布による訪問の高齢者見守り事業の実施

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例

- 自治会単位でのミニデイサービスの実施
- 毎月の子育てサロンの実施

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例

- 福祉ボランティア団体による支え合い活動の実施
- 地域でのボランティア育成を図り、育成事業を実施

主な指標

指標1 ミニデイサービスの参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
582人	640人	715人

指標2 福祉ボランティア団体の支え合い活動の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
3,860人	4,060人	4,310人

4 依知南地区

現状と課題

- 依知南地区は、相模川や中津川に挟まれた緑豊かな地区であり、高齢化率に関しては厚木市での平均を下回る比率です。
- アパートなどの賃貸が多い地域もあり、外国籍の人や生活困窮者も多く居住しており、社会的に孤立してしまうことがあり、地域の相談も多岐にわたっています。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	依知南地区	区 分	市	依知南地区
人 口	225,535 人	13,312 人	身体障害者手帳 所持者	6,089 人	340 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	1,824 人	療育手帳所持者	1,731 人	91 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	8,471 人	精神障害者保健 福祉手帳所持者	1,591 人	109 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	3,017 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	1,201 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	22.7%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	9.0%
要支援(1・2)	1,505 人	61 人	要介護(1～5)	5,809 人	295 人

取組方針

- 地域のミニデイサービスや敬老会などの参加を積極的に進め、地域のつながりづくりを目指します。
- 地域福祉やコミュニティを支えるボランティア団体や各種団体を支援します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

- | | |
|------------|---|
| 取組例 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者見守り事業（祝品の配布）の実施 ○ 地区の高齢者を招き「敬老会」を公民館で実施 ※ 敬老会等の事業の周知の際に見守りを行う。 |
|------------|---|

施策の方向2 地域における居場所づくり

- | | |
|------------|---|
| 取組例 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ミニデイサービスの実施 ○ お楽しみ会の実施 |
|------------|---|

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

- | | |
|------------|--|
| 取組例 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援事業（子育てサロン）の実施 ○ 世代間交流事業の実施 |
|------------|--|

主な指標

指標1 ミニデイサービスの参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
108人	160人	195人

指標2 依知南福祉ボランティアの登録者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
2人	6人	11人

5 睦合北地区

現状と課題

- 高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者が増加傾向にあり、災害時や日常生活での不安が高まっています。
- 地域における高齢者の健康維持・生きがいの創出を促進するための居場所づくりに取り組む必要があります。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	睦合北地区	区 分	市	睦合北地区
人 口	225,535 人	9,998 人	身体障害者手帳所持者	6,089 人	281 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	1,204 人	療育手帳所持者	1,731 人	73 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	6,247 人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591 人	75 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	2,547 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	1,094 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	25.5%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	10.9%
要支援(1・2)	1,505 人	64 人	要介護(1～5)	5,809 人	290 人

取組方針

- 地域で安心して過ごせるよう、見守り活動の充実を図ります。
- 自治会館などを利用し、気軽に集まれる居場所を作ります。
- 地域を支える人づくりのため、ボランティアの人材育成や各種団体との連携強化を図ります。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例

- 「あんしん袋」の配布と点検活動
- 住民同士の見守り活動サポート

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例

- 自治会館を活用した定期的なふれあいの場づくり
- 健康体操教室の開催

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例

- ボランティアの発掘と育成
- 研修会の実施

主な指標

指標1 地域福祉推進委員による訪問人数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
330人	660人	990人

指標2 ふれあいの場の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
—	72人	144人

6 睦合南地区

現状と課題

- 高齢化に伴う問題は、核家族化による介護者の不在、空き家化、生活困窮など、複雑化している状況にあります。地域における様々な状況をあぶり出し、風通しをよくする仕組みづくりが必要です。
- 高齢者の居場所を増やし、見守る仕組みづくりを実現するため、担い手となる地域の人的資源を活用し、無理のない範囲で組織化する必要があります。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	睦合南地区	区 分	市	睦合南地区
人 口	225,535 人	20,757 人	身体障害者手帳 所持者	6,089 人	550 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	2,772 人	療育手帳所持者	1,731 人	161 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	13,273 人	精神障害者保健 福祉手帳所持者	1,591 人	167 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	4,712 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	1,954 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	22.7%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	9.4%
要支援(1・2)	1,505 人	146 人	要介護(1～5)	5,809 人	445 人

取組方針

- 気軽に立ち寄れるお茶飲み会やおしゃべり会を小規模単位で開催し、実際の支援活動を通して研修の機会を推進します。
- 地域の福祉に携わった経験がある方、地域の福祉に興味、意欲がある方などの人的資源を活用することで、きめ細かな地域で集う場所を提供し、厚みのある支援体制を構築します。
- 現行の仕組みを見直し、より具体的かつ柔軟な組織体制を目指します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人的資源の活用と組織化 ○ 地域の様々な福祉活動の紹介と啓発 ○ 宅配事業や世代間交流事業の推進
-----	---

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例	○ きめ細かな地域での展開を目指したミニデイサービス等実施の推進
-----	----------------------------------

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支えあい活動への地域ぐるみの参加と啓発 ○ 地域の人的資源を活用した各事業の展開方法の検討
-----	--

主な指標

指標1 お茶飲み会や、おしゃべり会の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
169人	300人	400人

指標2 ミニデイサービスの参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
1,636人	1,700人	1,800人

7 睦合西地区

現状と課題

- 少子化・高齢化が急速に進み、地域住民相互のつながりが希薄化しているため、日頃から地域での見守りを行うとともに、地域の居場所づくりが必要です。
- 福祉関連団体の構成員も高齢化が進んでいるため、新たな人材の育成が必要です。

地区データ

平成29年10月1日現在

区分	市	睦合西地区	区分	市	睦合西地区
人口	225,535人	9,986人	身体障害者手帳所持者	6,089人	258人
年少人口 (0～14歳)	28,633人	1,421人	療育手帳所持者	1,731人	82人
生産年齢人口 (15～64歳)	142,141人	6,281人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591人	76人
老年人口 (65歳以上)	54,761人	2,284人	後期高齢者人口 (75歳以上)	23,522人	1,063人
高齢化率 (65歳以上)	24.3%	22.9%	高齢化率 (75歳以上)	10.4%	10.6%
要支援(1・2)	1,505人	86人	要介護(1～5)	5,809人	238人

取組方針

- 普段からの御近所付き合いやあいさつ運動など、身近にできる見守り活動の取組を推進します。
- 気軽にお茶やおしゃべりができる憩いの場を作ります。
- 福祉関連団体を担う人材の育成を推進します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昼食宅配、クリスマスケーキ宅配などによる見守り活動 ○ 敬老祝品や災害時安心袋を配布しながらの見守り活動 ○ 地域のあいさつ運動・登下校時の愛の目運動の推進
-----	--

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てサロン「ぽっぽちゃん」の開催 ○ 高齢者・世代間交流サロン「ふらっと茶屋」の開催 ○ みんなで軽体操の開催 ○ コーヒーサロンの開催
-----	--

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域福祉講習会の開催 ○ 地域の人材発掘を図る講座の開催
-----	---

主な指標

指標1 みんなで軽体操の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
701人	800人	900人

指標2 高齢者・世代間交流サロン「ふらっと茶屋」の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
—	120人	240人

8 荻野地区

現状と課題

- ひとり暮らし高齢者、要支援・要介護認定者など的高齢者が増加しているため、日常生活や介護などへの不安解消に取り組む必要があります。
- 高齢者人口が増加しているため、地域ごとの交流を深めながら見守りや居場所づくりなどを充実する必要があります。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	荻野地区	区 分	市	荻野地区
人 口	225,535 人	26,339 人	身体障害者手帳所持者	6,089 人	749 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	3,699 人	療育手帳所持者	1,731 人	306 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	15,443 人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591 人	205 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	7,197 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	3,139 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	27.3%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	11.9%
要支援(1・2)	1,505 人	174 人	要介護(1～5)	5,809 人	775 人

取組方針

- 互いに交流を深め、地域の見守り活動を推進します。
- 地域の人達が集まり、お話できる場所を作ります。
- 地域福祉をサポートするボランティアを育成します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひとり暮らし昼食会の実施 ○ ひとり暮らしのお宅へ安否確認を兼ねた訪問 ○ 見守りやまびこ通信の発行
-----	--

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てサロン「ひなたぼっこ」の開催 ○ 地域茶話会の実施
-----	---

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験ボランティアの募集 ○ ボランティアによる地域福祉事業への参加
-----	--

主な指標

指標1 ひとり暮らし高齢者の安否確認を兼ねた訪問人数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
7,454人	8,000人	8,500人

指標2 子育てサロン「ひなたぼっこ」及び「地域茶話会」参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
426人	468人	510人

9 小鮎地区

現状と課題

- 高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者が増加傾向にあり、買い物などの日常生活や健康などの不安が高まっているため、それらの不安の解消に取り組む必要があります。
- ボランティア会員など的高齢化に伴い、次世代の活動者や地域福祉活動の担い手の育成に取り組む必要があります。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	小鮎地区	区 分	市	小鮎地区
人 口	225,535 人	14,517 人	身体障害者手帳所持者	6,089 人	427 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	1,575 人	療育手帳所持者	1,731 人	99 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	8,737 人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591 人	95 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	4,205 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	1,697 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	29.0%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	11.7%
要支援(1・2)	1,505 人	113 人	要介護(1～5)	5,809 人	438 人

取組方針

- 世代を越えて助け合いのできる地域社会を築くため、各種団体等と連携し地域福祉活動の推進を図ります。
- 「向こう三軒両隣」の精神の下に、普段からの御近所付き合いや地域における見守り活動の取組を推進します。
- 地域と連携し地域力を高めるため、各種団体等を育成します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

- | | |
|------------|---|
| 取組例 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見守りささえあい訪問」の実施 ○ 引きこもりがちな高齢者の声かけ・参加の声かけの実施 ○ 敬老長寿祝いの実施 |
|------------|---|

施策の方向2 地域における居場所づくり

- | | |
|------------|--|
| 取組例 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ミニデイサービスの開催 ○ 会食お楽しみ会の開催 ○ グランドゴルフ練習及び大会の開催 ○ 世代間交流給食会の開催 |
|------------|--|

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

- | | |
|------------|--|
| 取組例 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種団体等と連携した小鮎ボランティアの登録・育成 ○ 民生委員・児童委員や小鮎ボランティアの会との研修会の開催 |
|------------|--|

主な指標

指標1 ミニデイサービスの参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
2,203人	2,250人	2,300人

指標2 小鮎ボランティアの登録者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
92人	92人	92人

10 南毛利地区

現状と課題

- 高齢者の小地域による偏在やひとり暮らし高齢者、要支援・要介護認定者などが増加傾向にあり、日常生活や介護などへの不安解消に取り組む必要があります。
- 年少人口は減少傾向にあり、子どもやその親が孤立しないよう地域での居場所づくりに努める必要があります。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	南毛利地区	区 分	市	南毛利地区
人 口	225,535 人	38,868 人	身体障害者手帳所持者	6,089 人	956 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	5,437 人	療育手帳所持者	1,731 人	255 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	24,953 人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591 人	242 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	8,478 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	3,701 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	21.8%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	9.5%
要支援(1・2)	1,505 人	188 人	要介護(1～5)	5,809 人	918 人

取組方針

- 気軽なお付き合いを通して見守り活動を推進します。
- 仲間同士、気軽に相談できる場を作ります。
- 地域福祉を支えるサポーターを育成します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例

- ミニデイサービスの多様化の推進
- 高齢者昼食宅配事業の実施

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例

- 子育てサロン「みなみちゃん」の開催
- 健康維持事業の実施

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例

- サポーターの登録・育成
- 障がい者支援事業の実施

主な指標

指標1 ミニデイサービスの参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
1,469人	1,600人	1,800人

指標2 サポーターの登録者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
31人	35人	40人

11 南毛利南地区

現状と課題

- 高齢化率が上昇していることから、支援が必要な対象者の把握について、自治会や民生委員・児童委員、地域包括支援センターなど、地域住民や関係機関等と連携を図りながら、より一層円滑に進める必要性があります。
- 少子高齢化の急速な進展や近所付き合いの希薄化など、地域とつながり、支え合うきっかけを失っている方の孤立を防ぐため、地区市民センターや老人憩の家、児童館、学校などのほか、自治会館などを活用し、誰もが参加しやすい地域の「居場所づくり」をより一層進める必要性があります。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	南毛利南地区	区 分	市	南毛利南地区
人 口	225,535 人	10,770 人	身体障害者手帳所持者	6,089 人	297 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	1,278 人	療育手帳所持者	1,731 人	60 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	6,980 人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591 人	52 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	2,512 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	1,148 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	23.3%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	10.7%
要支援(1・2)	1,505 人	75 人	要介護(1～5)	5,809 人	285 人

取組方針

- 共に支え合う地域社会を築くため、各種研修会の開催や広報紙の発行などにより、地域住民の福祉に関する意識高揚を推進します。
- 地域住民の福祉ニーズに応じた地域福祉活動を図るため、ミニデイサービスを開催するなど、自治会を単位とした、きめ細やかな事業の展開を推進します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例

- 広報紙「あいのかけはし」発行による地域福祉活動に関する情報提供
- 敬老事業（敬老祝品の配付）の実施
- 民生委員・児童委員等を中心とした定期的な高齢者宅の訪問活動

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例

- 子育てサロン「あいちゃん」の実施
- 会食会（昼食会、年3回）の運営
- ミニデイサービス（自治会別）の実施
- 愛甲小学校PTAふれあい大会に「昔あそびコーナー」を設営
- 年末福祉交流会（音楽会・クリスマス会等）の実施

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例

- 地域福祉推進委員会委員研修（講演会・施設見学等）の実施
- ふれあい勉強会（講演会・実習等）の実施

主な指標

指標1 子育てサロン「あいちゃん」の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
486人	510人	540人

指標2 ミニデイサービスの参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
485人	600人	750人

12 玉川地区

現状と課題

- 地区の人口が市内で最も少なく、高齢化率は65歳以上が32.6%、75歳以上が16.5%と超高齢社会を迎えていますが、里山を始めとした豊かな自然環境の中、昔からの近所付き合いが深く残る地区でもあります。超高齢社会の中で、地域の担い手となる人材の確保、育成とともに、ボランティアの発掘が課題です。

地区データ

平成29年10月1日現在

区分	市	玉川地区	区分	市	玉川地区
人口	225,535人	3,532人	身体障害者手帳所持者	6,089人	149人
年少人口 (0～14歳)	28,633人	357人	療育手帳所持者	1,731人	106人
生産年齢人口 (15～64歳)	142,141人	2,022人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591人	14人
老年人口 (65歳以上)	54,761人	1,153人	後期高齢者人口 (75歳以上)	23,522人	583人
高齢化率 (65歳以上)	24.3%	32.6%	高齢化率 (75歳以上)	10.4%	16.5%
要支援(1・2)	1,505人	23人	要介護(1～5)	5,809人	183人

取組方針

- 誰もが安心していきいきと暮らし、共に支え合う地域社会を築くため、住民の福祉ニーズに応じた地域福祉活動を推進します。
- 近隣関係のつながりを大切にし、地域福祉や自治会の組織などをいかした助け合い、見守り活動の更なる充実に努めます。
- 地域福祉等の担い手となる人材の確保や育成、ボランティアの育成を図ります。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年2回の高齢者等見守り活動を実施 ○ 自治会長や民生委員・児童委員、しあわせクラブ会員などにより、小中学生の登下校時の見守り活動を実施 ○ 外出する際はセーフティベストを着用
-----	---

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康づくり活動を通じての健康長寿の里づくり ○ ミニデイサービスの開催 ○ 子育てサロン「にっこにこ」の開催
-----	--

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域福祉推進委員会ボランティア委員の登録・育成 ○ 地域福祉推進委員会委員研修会の実施
-----	--

主な指標

指標1 ミニデイサービスの参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
180人	200人	250人

指標2 子育てサロン「にっこにこ」の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
268人	300人	350人

13 森の里地区

現状と課題

- 少子高齢化が進展する中、地域における高齢者の孤立化を防ぎ、一人一人が生き生きと自立した生活を安心して送ることができる地域づくりを進める必要があります。
- 複雑化する生活環境に伴う住民の多様なニーズに応えられる地域福祉推進事業に、より一層取り組むことが重要な課題となります。
- 地域福祉を効果的に推進するためには、地域における各団体や学校、施設、事業者などとの連携強化を図るとともに、担い手となるボランティアを育成する必要があります。

地区データ

平成29年10月1日現在

区分	市	森の里地区	区分	市	森の里地区
人口	225,535人	6,538人	身体障害者手帳所持者	6,089人	155人
年少人口 (0～14歳)	28,633人	574人	療育手帳所持者	1,731人	47人
生産年齢人口 (15～64歳)	142,141人	3,757人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591人	25人
老年人口 (65歳以上)	54,761人	2,207人	後期高齢者人口 (75歳以上)	23,522人	763人
高齢化率 (65歳以上)	24.3%	33.8%	高齢化率 (75歳以上)	10.4%	11.7%
要支援(1・2)	1,505人	62人	要介護(1～5)	5,809人	173人

取組方針

- 高齢者が安心して地域で生活できるように、住民間の見守りや支え合い活動の取組を推進します。
- 高齢者がいつまでも元気で健康であるために、集い交流し、情報交換及び相談ができる場づくりを推進します。
- 地域で支援を行うボランティアを育成したり、ボランティア団体の連携を深め、絆づくりに寄与したりするような場の提供に努めます。
- 子育て世代が地域で安心して子育てができる取組を推進します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例

- 安心コール事業の実施
- 生活支援事業「もりの応援隊」の実施

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例

- 高齢者居場所づくり事業「陽だまりの家」の実施
- ふれあい喫茶「森 café」の開催
- 子育てサロンの開催

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例

- 地域福祉支援ボランティア養成研修会の開催
- 地区内ボランティア交流会の開催

主な指標

指標1 地域福祉支援ボランティア数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
53人	66人	99人

指標2 安心コール利用者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
13人	25人	40人

14 相川地区

現状と課題

- 相川地区は、観光農園などの農業が盛んな一方、新東名高速道路の新設や土地区画整理事業が計画されるなど、基盤整備が進む地域です。
- このような住環境の変化にも、地域に対する愛着を更に深めてもらうため、自治会やボランティア団体などと地域住民が連携を図りながら、全ての世代間の交流をより活性化する必要があります。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区 分	市	相川地区	区 分	市	相川地区
人 口	225,535 人	13,518 人	身体障害者手帳 所持者	6,089 人	328 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	1,766 人	療育手帳所持者	1,731 人	81 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	8,709 人	精神障害者保健 福祉手帳所持者	1,591 人	83 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	3,043 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	1,213 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	22.5%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	9.0%
要支援(1・2)	1,505 人	77 人	要介護(1～5)	5,809 人	299 人

取組方針

- 子育てに対する悩みの解消やストレスを和らげるため、子育て世代が活発に交流できる場を提供します。
- 高齢者が生き生きと暮らせるよう、小・中学校と連携を図り、世代間交流を推進します。
- ひとり暮らし高齢者へのゆるやかな見守り活動の取組を推進します。
- 未来を担う子ども達の活動や居場所づくりを地域の大人たちで支援することで、地域の絆を結びます。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ ひとり暮らし高齢者宅への配食サービスの実施 ○ 機関紙「にじ」発行による地域福祉活動に関する情報提供 ○ 敬老事業（敬老祝品の配付）の実施 ○ 民生委員・児童委員等を中心とした定期的な高齢者等の見守り・安否確認
-----	--

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育てサロン「キラキラ」の実施 ○ 世代間交流給食会（各小学校1回）の実施 ○ ミニデイサービスの実施 ○ 高齢者社会見学会の実施
-----	--

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例	<ul style="list-style-type: none"> ○ こどもまつりの実施 ○ 公民館まつりの実施
-----	--

主な指標

指標1 子育てサロン「きらきら」の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
647人	650人	650人

指標2 「世代間交流給食会」の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
109人	120人	120人

15 緑ヶ丘地区

現状と課題

- 高齢者世帯やひとり暮らしの高齢者が増加傾向にあり、買い物などの日常生活や健康などの不安が高まっているため、それらの不安の解消に取り組む必要があります。
- 高齢者人口の増加に伴い、高齢者が活動できる場の確保を始め、介護予防や生活支援の充実を図る必要があります。
- 小地域での相互助け合いを基本とするボランティア活動の在り方について検討し、ボランティアの育成を図る必要があります。

地区データ

平成 29 年 10 月 1 日現在

区分	市	緑ヶ丘地区	区分	市	緑ヶ丘地区
人口	225,535 人	4,663 人	身体障害者手帳所持者	6,089 人	170 人
年少人口 (0～14 歳)	28,633 人	551 人	療育手帳所持者	1,731 人	42 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	142,141 人	2,563 人	精神障害者保健福祉手帳所持者	1,591 人	38 人
老年人口 (65 歳以上)	54,761 人	1,549 人	後期高齢者人口 (75 歳以上)	23,522 人	804 人
高齢化率 (65 歳以上)	24.3%	33.2%	高齢化率 (75 歳以上)	10.4%	17.2%
要支援(1・2)	1,505 人	64 人	要介護(1～5)	5,809 人	159 人

取組方針

- 普段からの御近所付き合いや地域におけるゆるやかな見守り活動の取組を推進します。
- 誰もが気軽にふれあい活動ができる場を作ります。
- 地域福祉や小地域活動を支えるボランティアグループを育成します。

主な取組

施策の方向1 見守り活動の充実

取組例

- ボランティア等による安心安全パトロールの充実
- 小地域内での高齢者の見守り活動の実施

施策の方向2 地域における居場所づくり

取組例

- ミニデイサービスやサロンなどの開催
- 高齢者の健康体操教室やラジオ体操などの開催

施策の方向3 地域で支え合う人づくり

取組例

- 小地域でのボランティアの育成

主な指標

指標1 サロン、高齢者の健康体操教室等居場所づくり事業の参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
2,800人	3,200人	4,000人

指標2 小地域でのボランティア育成研修参加者数

2016年度 (平成28年度)	2020年度	2025年度
50人	70人	80人

